

509
71

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



光策廣第
集案畱



509-71



序

流石に京都は染織業の本場だけに圖案に關する圖書を出版するもの充棟汗手も啻ならぬ有様である、我横山光策氏は山鹿清華氏の門に遊んで多年研鑽した結果を參酌して今回織物の帶圖案を發表したが織物の帯には色々の約束がある、其約束の範圍で現代に相應はしい新らし味を加へやうと苦心したのが此帖に收めた圖案である、詳細に觀ると完璧一疵だにないとは言はれな
い、氏がして今後不撓不屈研究を怠らなかつたならば蓋他日の大成完璧の期する所があらう

大正十二年春月

紫浪識

大正
12. 5. 11
内文

1

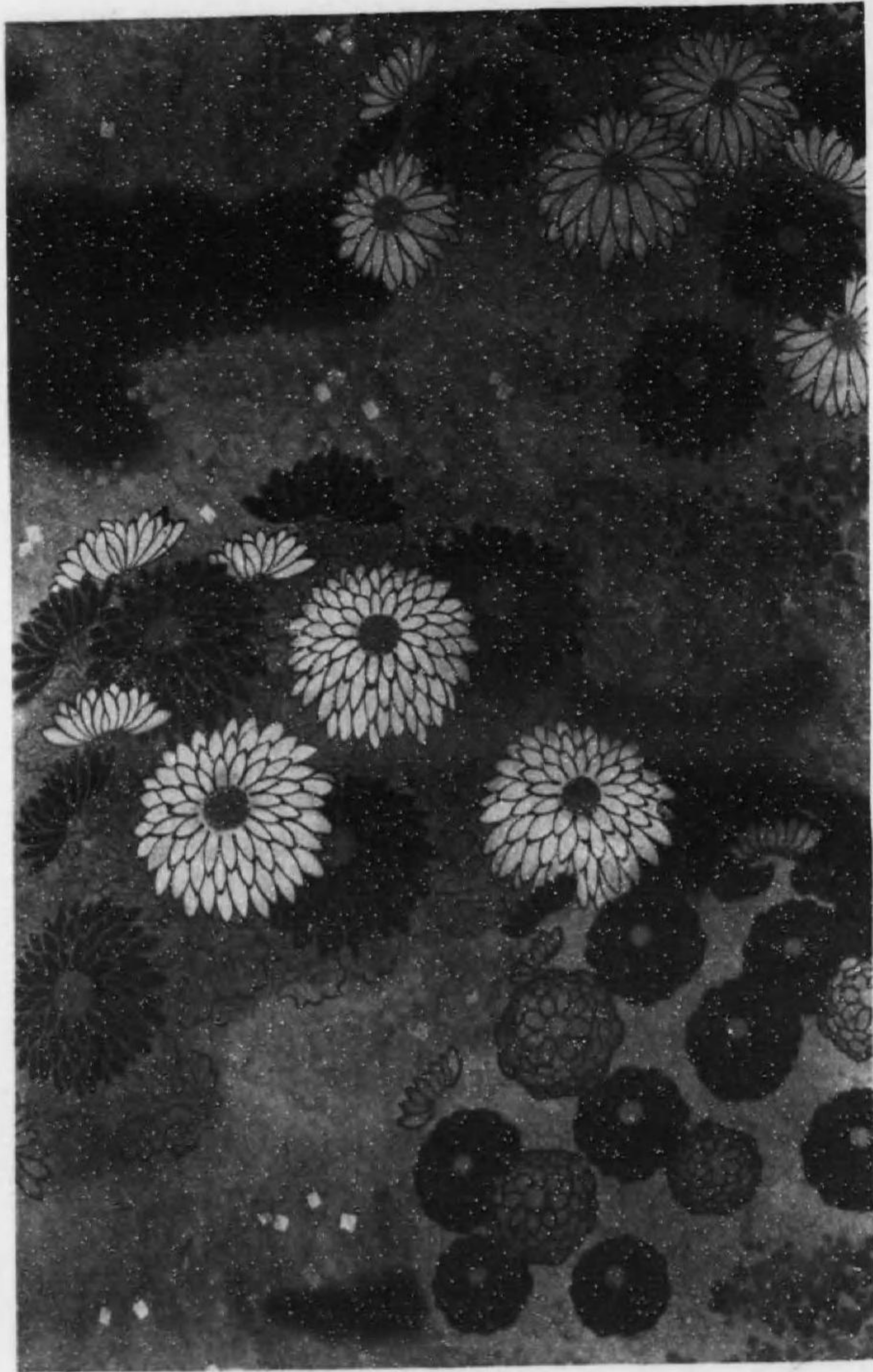




3



4

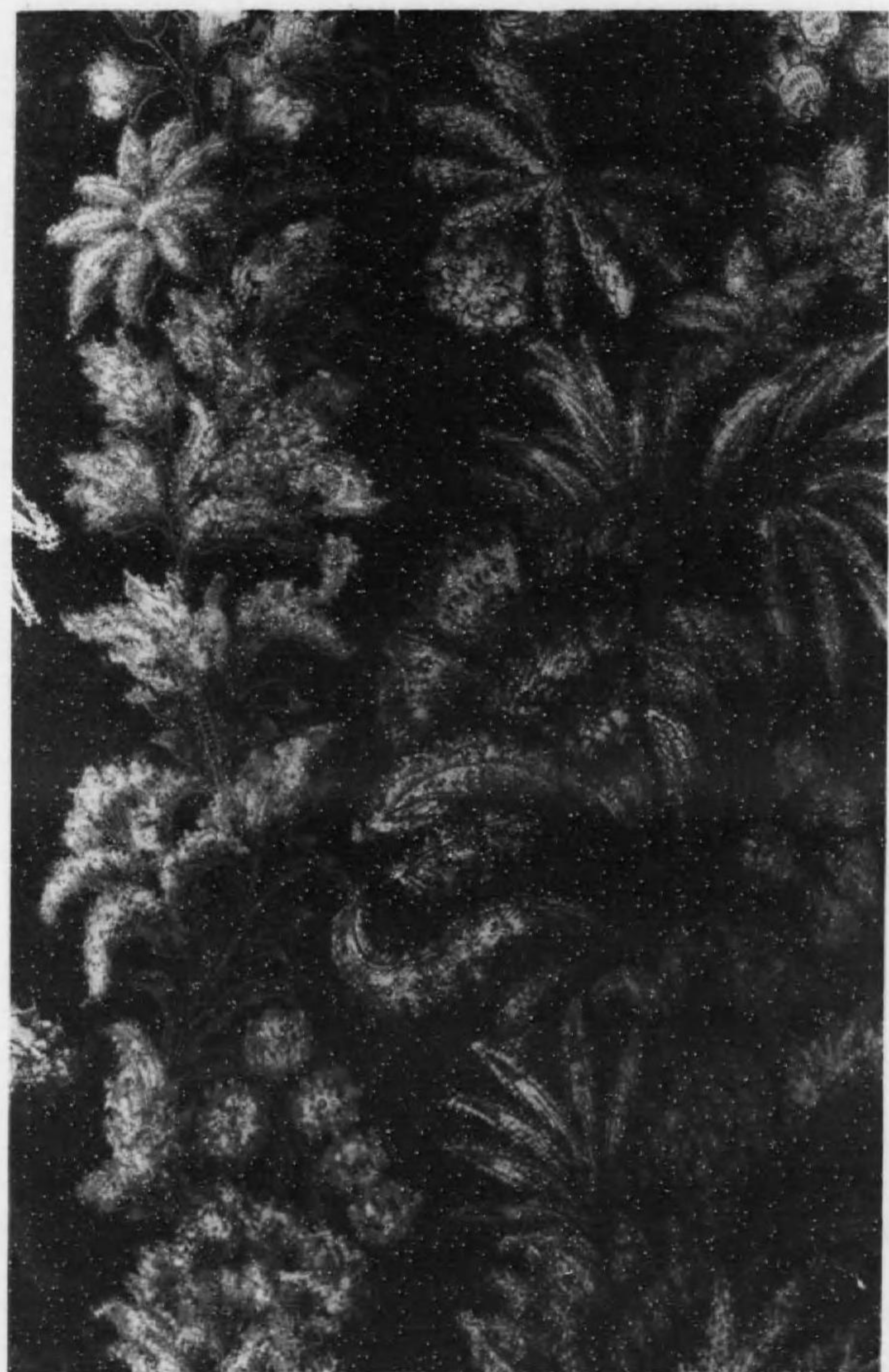




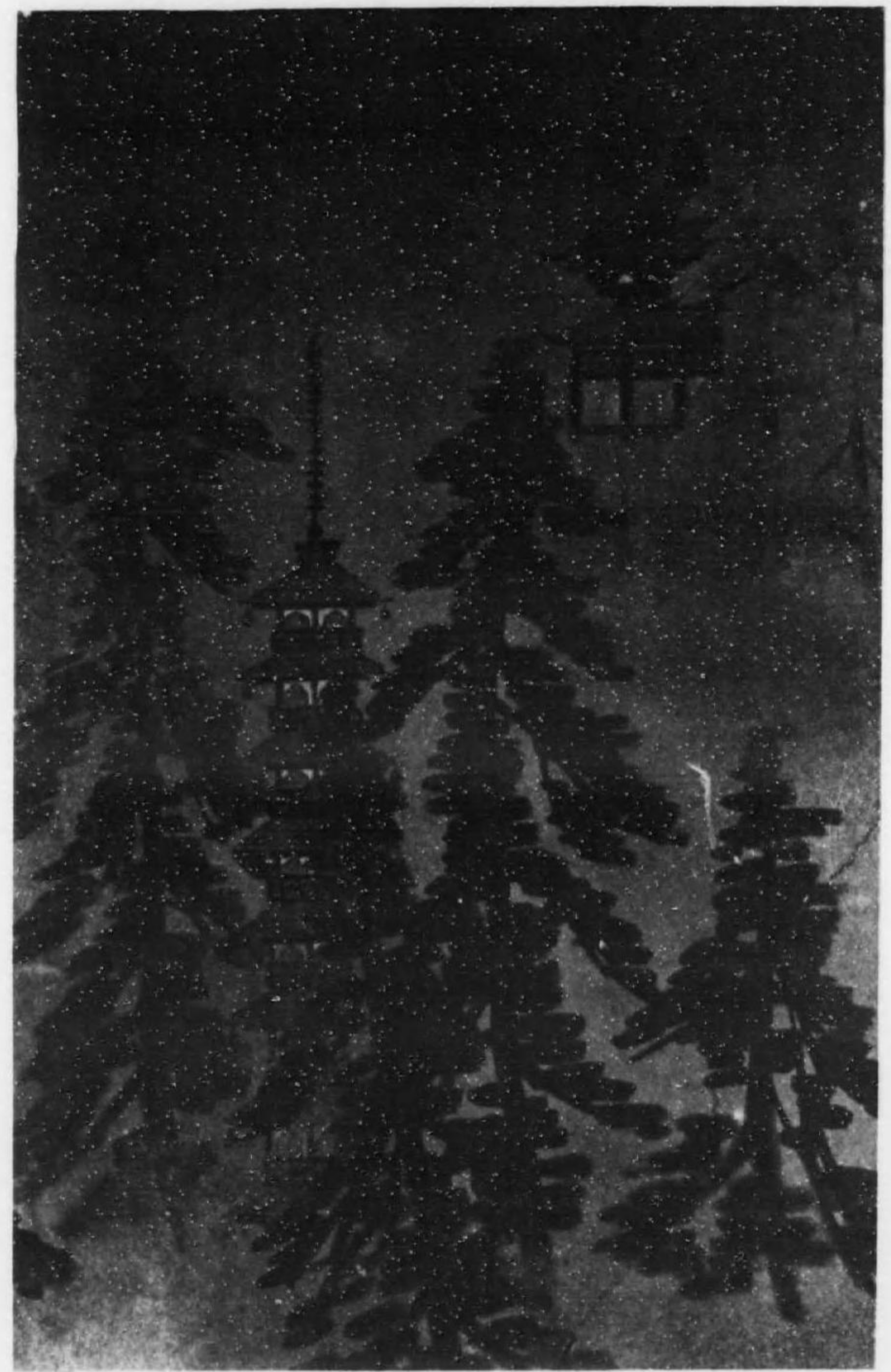
6

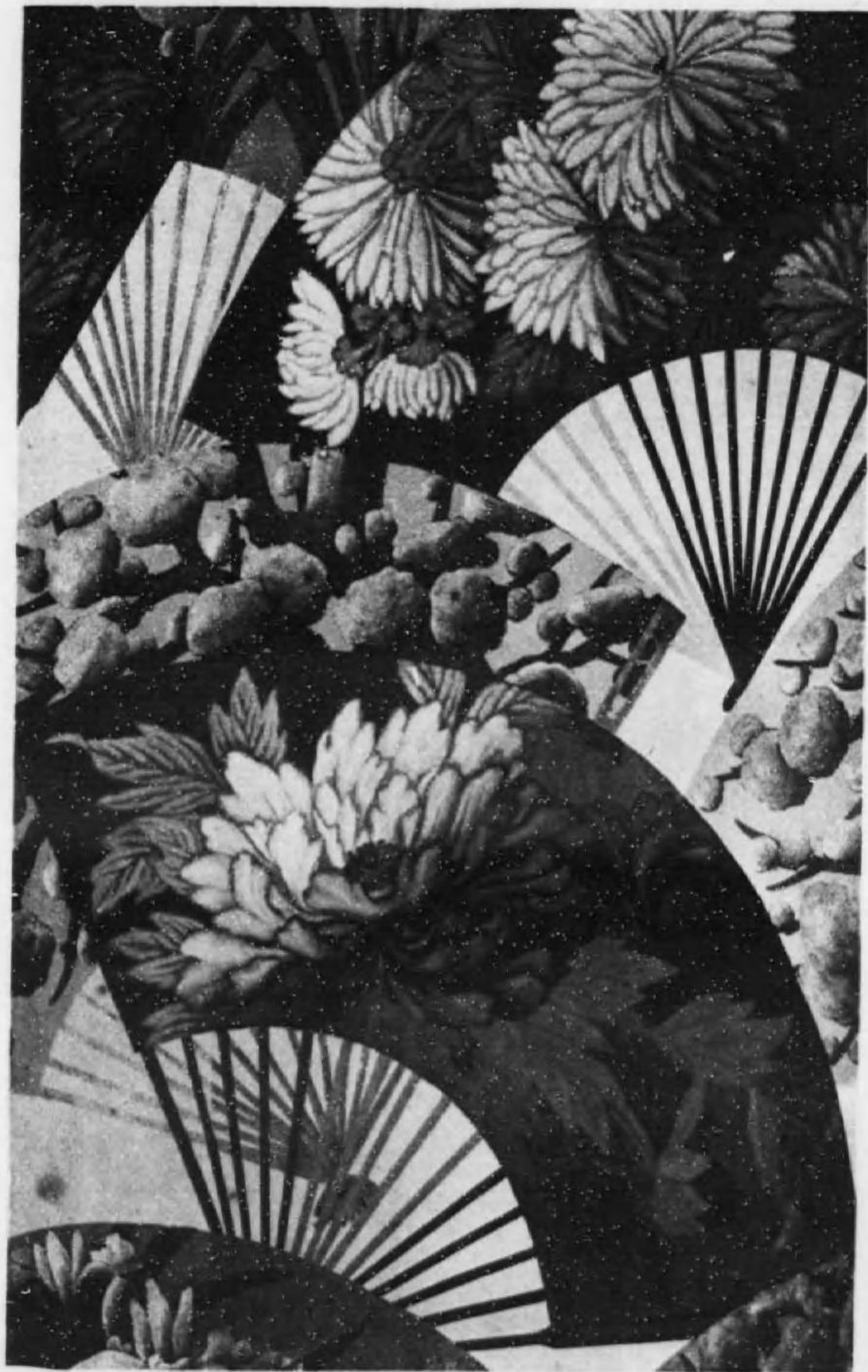


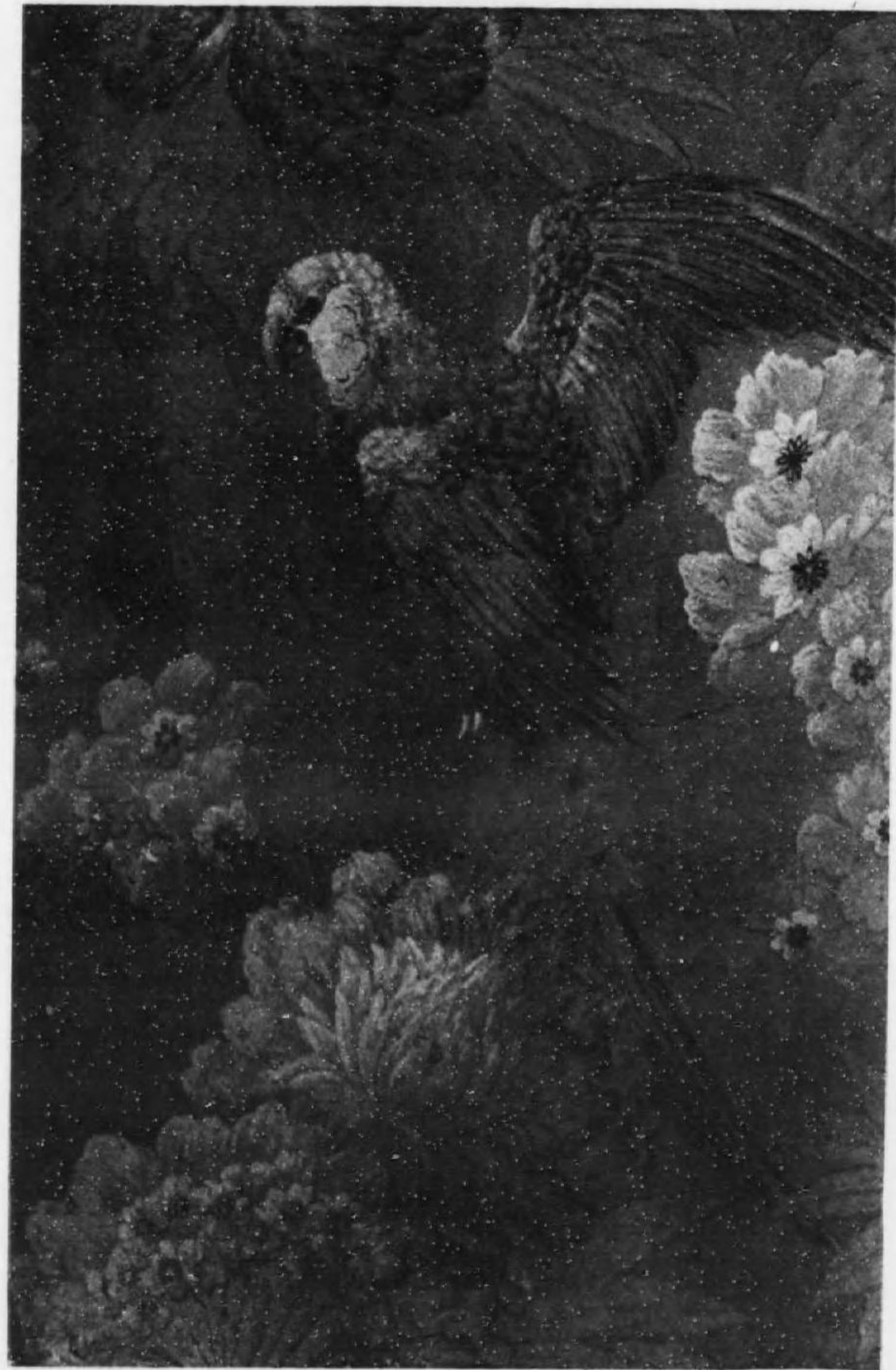
7



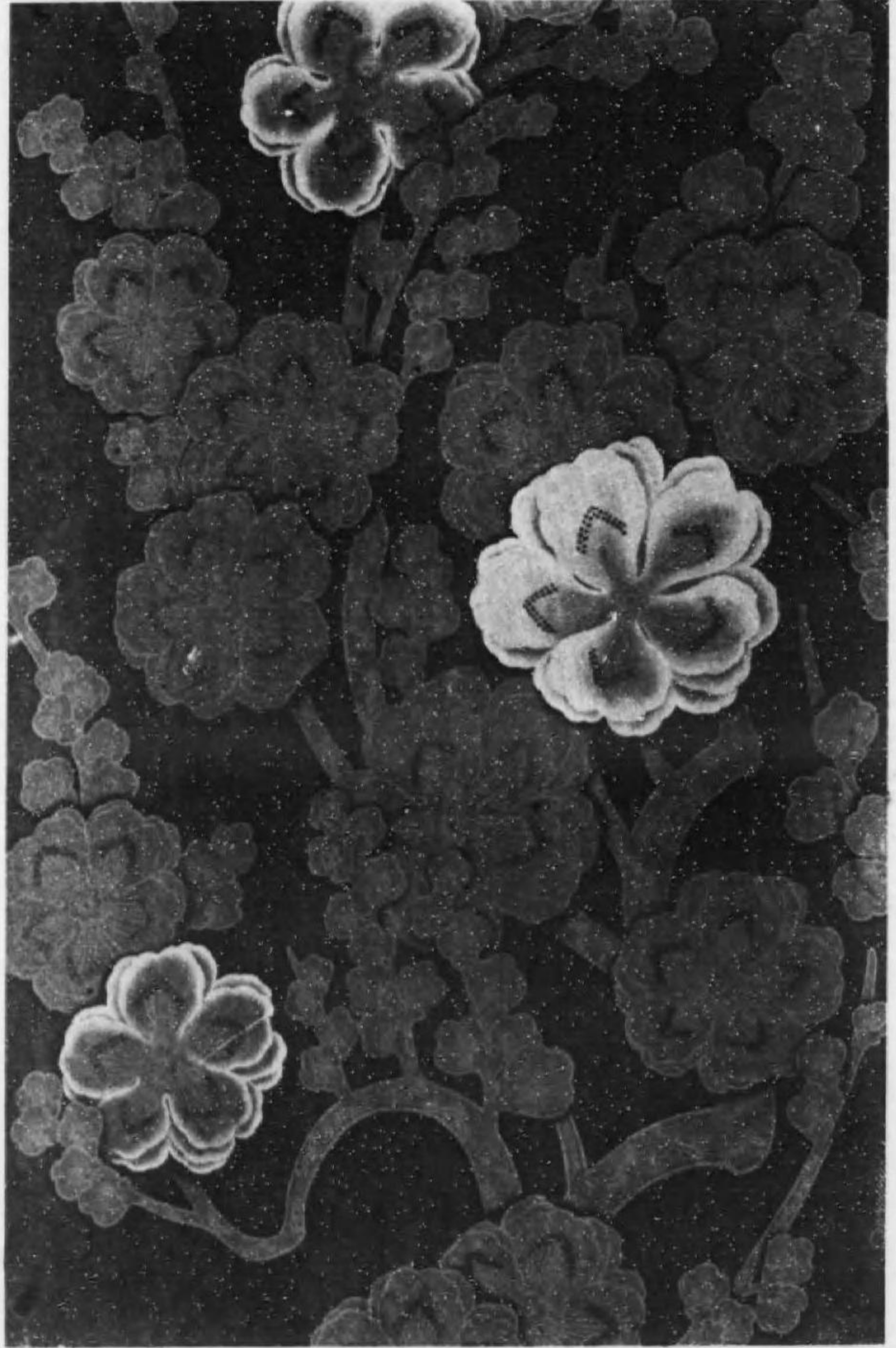




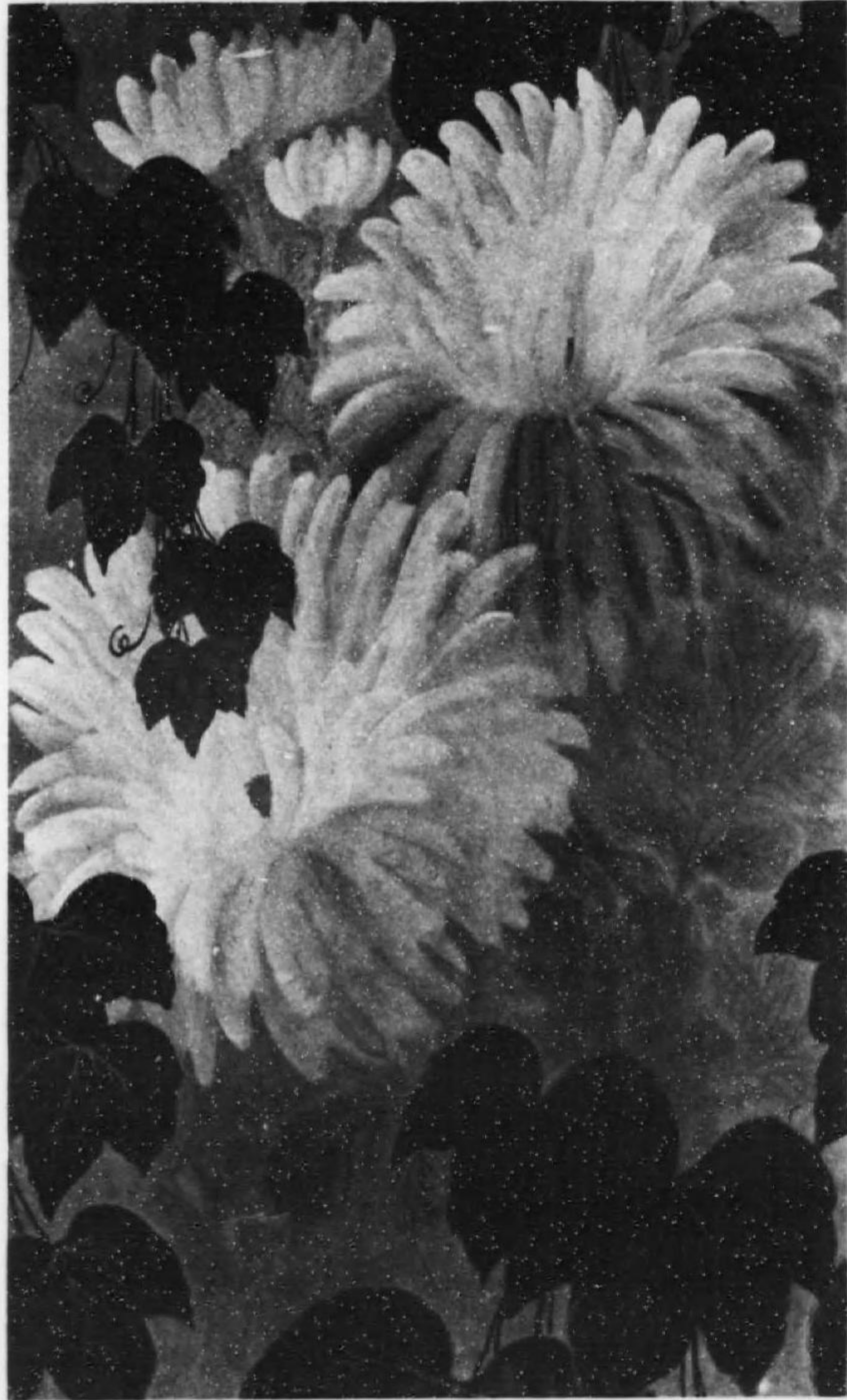




























24



25



大正十二年五月十日印刷
大正十二年五月十五日發行

不許複製

編輯者 橫山光策

印刷者 本田金之助

發行所

美術書肆 芸艸堂

同

美術書肆 芸艸堂支店

京都市寺町通二條南入

會社名

芸

艸

堂

東京市本郷區湯島二丁目一番地

會社名

芸

艸

堂

電話 三六〇〇番
振替口座東京四〇九四〇番



509
71

1211. 8

終

